

優秀賞

奈良県大淀町立大淀西部幼稚園

「令和元年度 運動会」

学校紹介

本園は、全園児数が8名という小規模な幼稚園である。「たくさんの人との関わりから豊かな心を育み明るくたくましい子どもに！」という教育目標のもと、園・家庭・地域が互いに関わり合い、積極的に交流を行う、地域に開かれた幼稚園づくりを目指している。

取組概要等

【取組概要】

東京2020大会にちなんで、「8にんのパワーぜんかい、せいぶのわ」をテーマに掲げ、関連する競技等を実施した。

【取組のねらい】

園児、教職員、保護者に加え、地域の方も巻き込み、参加し、汗をかき、互いに助け合い、応援しあうことを通して、オリンピック・パラリンピックの精神、価値について学べる様にした。

【創意工夫した点】

園児が、模擬トーチ、模擬聖火台を手作りした。当日は全員で模擬トーチを持って行進し、模擬聖火台に模擬トーチを挿しこむことで点火しているように演出した。また、キングオブアスリートを決める十種競技にちなみ、「めざせ！オリンピックの子」と題した①ハードル：走力・跳躍力②模擬オリンピックシンボルの中を跳ぶ：跳躍力③東京2020マスコット「ミライトワ」と「ソメイティ」の巨大パズル：知力④平均台：バランス力⑤バスケットシュート：投力）五種類の力を競う障がい物競走を行った。

【取組結果や効果】

準備段階も含め、最後までやり遂げる達成感やお互い協力しあうことで、園児の絆がより強くなった。また、家庭や地域に対し東京2020大会への機運を高めることができた。

【来年度以降の展開予定など】

東京2020大会が園児にとって意欲と刺激となるよう、今後の活動の中でもオリンピック・パラリンピックにちなんだ取組を行っていきたい。

プログラムの様子



模擬トーチをもって
入場し園児一人ひとりの成長の紹介を
するとともに模擬聖
火台に点火しました。



リレーの競技に祖父母・保護者・兄弟
姉妹・地域・来賓の
の方々に参加して
もらったことが園児への
エールとなりました。



自分たちで作った模
擬トーチで点火した
模擬聖火台に炎が
灯っているように演
出し、運動会開催
のはなむけとなりま
した。



障がい物競走の中
で、東京2020マス
コット「ミライトワ」と
「ソメイティ」の巨大
パズルを完成させま
した。

日本スポーツ協会からのコメント

創意工夫し、家族や地域の方を巻き込んで「せいぶのわ」を作り上げた点が素晴らしいと感じました。児童数が8人と決して多くはない人数ではありながらも、一人一人が大きな役割を担い、運動会を大いに盛り上げたことと思います。

受賞のコメント

東京2020大会にちなんだ競技となるよう工夫しました。最後まであきらめなくて達成できたことで一人一人の心のねっことになりました。また、幼稚園・家庭・地域がさらに絆を深め、ワンチームとなって東京2020大会を盛り上げていきたいと思っています。